発行所 社団法人 全国ベビーシッター協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
TEL:03-3797-5020 FAX:03-3797-5022
URL:http://www.netcircus.com/babysitter
発行人 網野武博
編集 広報編集委員会
発行年月日 2008年（平成20年）11月

会員交流事業・広報啓発事業・調査研究事業・研修事業・ベビーシッター育児支援事業・双生児家庭育児支援事業・資格認定制度事業等、これらの事業を通してベビーシッターは21世紀に貢献しています。

Babysitter Information
ベビーシッター情報
厚生労働省認可 社団法人 全国ベビーシッター協会
All-japan Babysitter Association®
2008 November Vol.66
ABA® All-japan Babysitter Association

「もう一人ほしいね」と思えるような社会を。

（社）全国ベビーシッター協会名誉会長 巷野悟郎の 知事対談シリーズ⑲

9月1日、大分県庁に広瀬勝貞大分県知事を訪問いたしました。9月27日から開催される国体のマスコットキャラクターの「めじろん」にもお迎えをいただいて、当協会名誉会長　巷野悟郎との和やかに楽しい子育て対談が始まりました。

大分県 広瀬 勝貞（ひろせ かつさだ） 知事

昭和17年6月25日生まれ　昭和41年3月　東京大学法学部卒業。通産省入省後、在スペイン大使館一等書記官、内閣総理大臣秘書官等を経て、平成11年には通商産業省事務次官、平成13年には経済産業省事務次官を歴任し、平成15年4月より大分県知事に就任。

■日本のベビーシッターシステム

会長…広瀬知事は、スペインで過ごされたことがあると伺いました。日本での子育てとの違いはありましたか。

知事…スペインをはじめとする南ヨーロッパは、子ども や子育て家庭に優しい国と言われていますが、本当にその通りでした。子どもが騒いだときにも、「子どもは元気なほうがいい」とマンションの階下の方に言っていただいたり、レストランでもウエイターさんが声をかけてくれたりなど、子どもを可愛がってくれる社会でした。子どもたちが小さかったので、恵まれた環境の中で子育てできたと思います。大使館勤務をしておりましたので夫婦そろって出席するパーティなども多く、そのような時にはベビーシッターさんに来ていただいて、大変助かりました。その頃の日本にはベビーシッターのシステムがなかったような気がします。

会長…戦後にはベビーシッターが存在したのですが、平成3年に当時の厚生省から認可を受けて社団法人全国ベビーシッター協会を設立したことでシステムとして確立され、現在では全国で100社以上のベビーシッター会社を組織しております。保険制度の整備や、国の補助を受けて研修制度や認定ベビーシッター制度を設けてプロのベビーシッターの養成を図っており、育児のサポーターとして子育ての不安や悩みなどの相談を受けることも多いです。

知事…それは安心ですね。ベビーシッターは、子育てを楽しくするためにも必要ですし、親が社会参画をするためにも必要だと思います。子どもがいることを理由に断るのではなく、あらかじめ決められたスケジュールならシッターさんにお願いして、社会活動するほうがよいと思いますね。

会長…ベビーシッターは、園の送迎や病気のときにも対応できますし、概ね24時間年中無休で活動していますから、子育ての大変心強いパートナーです。おかあさんが体調不良の時に、代わりにベビーシッターを利用されることもあります。保育というと、保育所などの施設型に偏りがちですが、子育てにはさまざまな形がありますので、ぜひ、ベビーシッターを活用していただきたいと思います。

■子育ての理想と現実…大分の子育て支援策

知事…子育てに関するアンケート調査によると、産みたいと思う子どもの数より産む予定の人数が少なく、実際に産んだ人数はもっと少ないという結果が出ています。産まない理由の多くが、お金がかかるから、仕事と子育ての両立が大変だから、というものでした。まさしくワークライフバランスの問題です。そこで、大分県では経済的支援として、保育料や乳幼児医療費の助成など育児費用の負担を軽減する他、県独自の奨学金制度も設けています。また、子育てが「孤育て」にならないよう、つどいの広場などの地域の子育て支援拠点事業を推進するとともに、地域の子育て支援情報が、必要な時に必要な子育て家庭にきちんと届くための仕組みづくりも行っています。さらに、子育てには母親だけではなく父親も大切な存在であることから、企業にも休暇取得の奨励などの協力を啓発・要請しています。夫の協力的な姿勢によって、ご夫婦が「もう一人ほしいね」と思うようになってくれることを期待しています（笑）。

会長…子育ての結果はすぐに出るものではありませんが、行政が重要な役割を担っていると考えます。

知事…大分県の合計特殊出生率は、近年は多少上昇傾向に転じてきましたが、九州の中ではまだ下から二番目です。合計特殊出生率は、将来展望指標のひとつだと思うのです。この数値が下がると、あるべき社会の設計ができないため不安定要素が高まってきます。確かに結果は何年も先になるかもしれませんが、よりよい前兆を創ることが行政の役割ですね。

会長…ワークライフバランスに対する経団連の理解も深まってきて、大変よい傾向だと考えています。アメリカでは6時間以上保育所で過ごすことを長時間保育と呼んでおり、日本とは大差があります。保育所から子どもが体調不良だと連絡があると、両親のいずれかまたはベビーシッターさんが1時間以内には迎えに行くなど、社会システムも整っています。

会長…先ほど育児に対する経済的支援のお話がありましたが、ベビーシッターを利用する際にも、いくつかの要件はありますが、勤務にかかわる場合には1日あたり1700円、双生児等の家庭にはリフレッシュ目的でも利用できる9000円の国からの助成があります。こうしたシステムを大分県民の皆様にも広報いただき、利用してほしいものです。

■子育て期間は、人生の輝ける期間

知事…私には4人の子どもがおりますが、子育てに4倍の労力、4倍のお金がかかる、というものではないです。上の子どもが下の子の面倒を見たり、洋服もお下がりを活用するなど、生活の中に工夫が生み出されるのです。生活の知恵というべきものです。子どもがたくさんいるからこそ、たくさんの工夫や知恵が生み出されてくると思うのです。

会長…本当にその通りですね。私も11人兄弟なのでわかります（笑）。

知事…私の経験からですが、子育ての期間は人生の中でもっとも輝かしい期間だということを、若い方に申し上げたいです。この貴重な年月をぜひ味わっていただきたい。

人生の中で子育ては最も輝いている期間です～知事～
楽しいベビーシッターの活用を期待します～名誉会長～

会長…最後に、応援メッセージをお願いします。

知事…海外では、夫婦そろってのパーティ出席や社会奉仕などが当然のことであり、親の社会参画や安心して子育てをするために、ベビーシッターは必須条件でした。日本でもこれから夫婦での社会参画のあり方が変化し、核家族化もますます進んでくることでしょう。公的な子育て支援サービスの充実と併せて、安心してお願いできるベビーシッターさんが増えることも必要ですね。これからもぜひ頑張っていただきたいものです。

会長…大分県から楽しい子育てのためのベビーシッターの活用を提唱していただきたいと思います。そのためにもベビーシッターの研修を大分県でも開催したいと考えておりますので、その折にはぜひご後援をお願いします。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

めじろん

「我が家では家族が大勢だったので、ハンバーグは四角い耐熱容器に入れて一度に焼いて切り分けていたものですから、『ハンバーグは四角いものだとずっと思っていた、丸いことを知ったのは大学に入ってからだよ』と子どもに言われましてね…」と、笑って子育てエピソードをお話くださった広瀬知事。
「お正月の伊達巻が父親だけ分厚いのが羨ましくて。大人になったら好きなだけ伊達巻を食べられるようになろう、と思っていました（笑）」と巷野名誉会長。
ほのぼのとした大家族の様子を語り合った、とても心あたたかな40分間でした。

東京大学小児科学教室
医学博士 小児科医
巷野（こうの） 悟郎（ごろう）
名誉会長

昭和19年 東京大学医学部卒業
都立駒込病院小児科医長、同副院長、都立府中病院院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学科教授を経て 現在 社団法人 全国ベビーシッター協会名誉会長
こどもの城 小児保健クリニック院長
日本保育園保健協議会会長
〈主な著書〉
「子育て相談Q&A」共著（日本小児医事出版社）
「子育ては自然にかえれ」（泉書房）
「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医からママへの手紙」（赤ちゃんとママ社）　など多数